



エコアクション21
認証番号 0006269

エコアクション 21

環境経営レポート 2023

(対象期間 2023年6月～2024年5月)



デザインしよう、資源の今と未来。

OTSUBO GSI.

2024年8月1日発行

目次

1. 組織の概要		1
2. SDGsへの取組		8
3. 認証・登録範囲		10
4. 環境経営方針		11
5. 環境経営目標		12
6. 環境経営計画		14
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価		15
8. 令和6年度の環境経営目標及び環境経営計画		26
9. 環境関連法規等の遵守状況と違反、訴訟等の有無		27
10. 代表者による全体評価と見直し		27

1. 組織の概要

社名	大坪GSI 株式会社
代表者	代表取締役 大坪 尚宏
設立	昭和 63 年 1 月 8 日
資本金	3,500 万円
事業年度	6 月 1 日～翌年 5 月 31 日
所在地	本 社 〒839-0241 福岡県柳川市大和町徳益 416 山川工場 〒835-0104 福岡県みやま市山川町河原内 1438 立花工場 〒834-0083 福岡県八女市立花町上辺春 5150 柳川工場 〒832-0089 福岡県柳川市田脇 345-1 運 輸 課 〒839-0241 福岡県柳川市大和町徳益 416 工 事 課 〒839-0241 福岡県柳川市大和町徳益 416 三橋工場 〒832-0812 福岡県柳川市三橋町五拾町 288-1



令和 5 年度	売 上 高 1,303,744 千円 従業員数 60 名 床 面 積 318,749 m ² 収集運搬量 25,351.55 t 中間処理量 101,350.85 t 再資源化量 101,350.85 t
---------	--

事業の概要	自社の中間処理施設において、排出事業者より受託し自社あるいは他の 収集運搬業者により搬入された産業廃棄物の中間処理・リサイクルを行い、 リサイクル製品の製造・販売を行う。
-------	---

事業の内容	産業廃棄物処分業 産業廃棄物収集運搬業 一般貨物運送事業 砕石業	土木工事業 とび・土工工事業 石工事業 鋼構造物工事業	舗装工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業 解体工事業
-------	---	--------------------------------------	---------------------------------------

取得許認可

産業廃棄物処分別業許可

福岡県	許可番号	04020019127
	許可年月日	令和 6年 6月 6日
	許可有効年月日	令和13年 6月 5日
	事業の範囲	中間処理(破碎):ガラスくず等(自動車等破碎物を除く。)、がれき類 以上2品目 中間処理(薬剤固化):燃え殻、鉱さい、ばいじん、汚泥(無機性に限る。)、 ガラスくず等(廃石膏に限る。) 以上5品目 中間処理(乾燥):ガラスくず等(廃石膏に限る。) 以上1品目 中間処理(破碎(移動式を含む。)):木くず 以上1品目 中間処理(造粒固化(移動式)):汚泥(無機性に限る。) 以上1品目 中間処理(不溶化・造粒):ガラスくず等(廃石膏に限る。) 以上1品目 中間処理(分離・破碎):廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目に ついては、廃太陽光パネルに限る。) 以上3品目

佐賀県	許可番号	04121019127
	許可年月日	令和 6年 6月16日
	許可有効年月日	令和13年 6月15日
	事業の範囲	中間処理(破碎(移動式)):がれき類(コンクリート廃材及びアスファルト廃材に 限る。) 以上1種類 中間処理(造粒固化(移動式)):汚泥(無機性に限る。) 以上1種類

久留米市	許可番号	11220019127
	許可年月日	令和 1年10月 2日
	許可有効年月日	令和 8年10月 1日
	事業の範囲	中間処理(造粒固化(移動式)):汚泥(無機性に限る。) 以上1品目

建設業許可

福岡県	許可番号	91406
	許可年月日	令和 4年11月 1日
	許可有効年月日	令和 9年10月31日
	事業の範囲	土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、 しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

改良土製造施設の県土整備部承認

福岡県 承認通達番号 18 企画第 347 号
 適用年月日 平成18年 5月19日
 再生資材の種類 建設発生土(第一種、第二種、第三種、第四種、泥土)

産業廃棄物収集運搬業許可

	許可番号	許可の年月日 及び有効年月日	優良	積み替え、保管	廃プラスチック類	金属くず	ガラスくず等	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	鉱さい	がれき類	ばいじん
福岡県	第04000019127	令和6年6月6日 令和13年6月5日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
佐賀県	第04101019127	令和6年6月16日 令和13年6月15日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
熊本県	第04305019127	令和4年6月24日 令和11年6月23日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
鹿児島県	第04601019127	令和3年4月9日 令和10年4月8日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
長崎県	第04200019127	令和4年5月17日 令和11年5月16日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
宮崎県	第04501019127	令和5年8月9日 令和12年8月8日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●
大分県	第04407019127	令和4年11月6日 令和11年11月5日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
山口県	第03500019127	令和4年11月20日 令和11年11月19日	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

施設の状況

運搬車両の種類と台数

大型ダンプ 12 台
 4tダンプ 5 台
 3tダンプ 1 台
 2tダンプ 4 台
 セミトレーラーダンプ 3 台
 大型運搬車 4 台
 キャブオーバ 3 台
 バン 3 台
 脱着装置付コンテナ専用車 1 台

機械の種類と台数

油圧ショベル	23 台	自走式土質改良機	1 台
ホイールローダ	8 台	自走式篩い機	1 台
ブルドーザ	3 台	破碎機	3 台
リフト	6 台		

破碎施設

取扱品目	ガラスくず等、がれき類
設置場所	福岡県柳川市田脇字頓行345番1
設置年月日	令和 1 年 12 月 13 日
処理能力	816 t/日(8 時間)

取扱品目	ガラスくず等、がれき類
設置場所	福岡県みやま市山川町河原内字冥加谷1438番1
設置年月日	昭和 63 年 3 月 1 日
処理能力	2800 t/日(8 時間)

取扱品目	ガラスくず等、がれき類
設置場所	福岡県八女市立花町上辺春5149番1外2筆
設置年月日	平成 4 年 9 月 2 日
処理能力	816 t/日(8 時間)

取扱品目	ガラスくず等
設置場所	福岡県みやま市山川町河原内字鍋谷1483番3
設置年月日	平成 25 年 10 月 21 日
処理能力	4.75 t/日(8 時間)

薬剤固化施設

取扱品目	燃え殻、鉋さい、ばいじん、汚泥(無機性に限る。)、ガラスくず等(廃石膏に限る。)
設置場所	福岡県柳川市田脇字頓行347番1
設置年月日	平成 18 年 2 月 25 日
処理能力	320 m ³ /日(8 時間)

取扱品目	燃え殻、鉋さい、ばいじん、汚泥(無機性に限る。)、ガラスくず等(廃石膏に限る。)
設置場所	福岡県みやま市山川町河原内字鍋谷1483番3
設置年月日	平成 23 年 6 月 11 日
処理能力	320 m ³ /日(8 時間)

乾燥施設

取扱品目	ガラスくず等(廃石膏に限る。)
設置場所	福岡県柳川市田脇字頓行345番3
設置年月日	平成 21 年 1 月 13 日
処理能力	5.04 t/日(8 時間)

破碎施設(移動式兼用)

取扱品目	木くず
設置場所	福岡県みやま市山川町河原内字冥加谷1438番7
設置年月日	平成 20 年 7 月 19 日
処理能力	4.73 t/日(8 時間)

造粒固化施設(移動式)

取扱品目	汚泥(無機性に限る。)
設置場所	福岡県みやま市山川町河原内字冥加谷1438番1
設置年月日	令和 3 年 5 月 10 日
処理能力	1080 m ³ /日(8 時間)

不溶化・造粒施設

取扱品目	ガラスくず等(廃石膏に限る。)
設置場所	福岡県柳川市三橋町五拾町字西川288番1
設置年月日	平成 28 年 1 月 7 日
処理能力	6.4 t/日(8 時間)

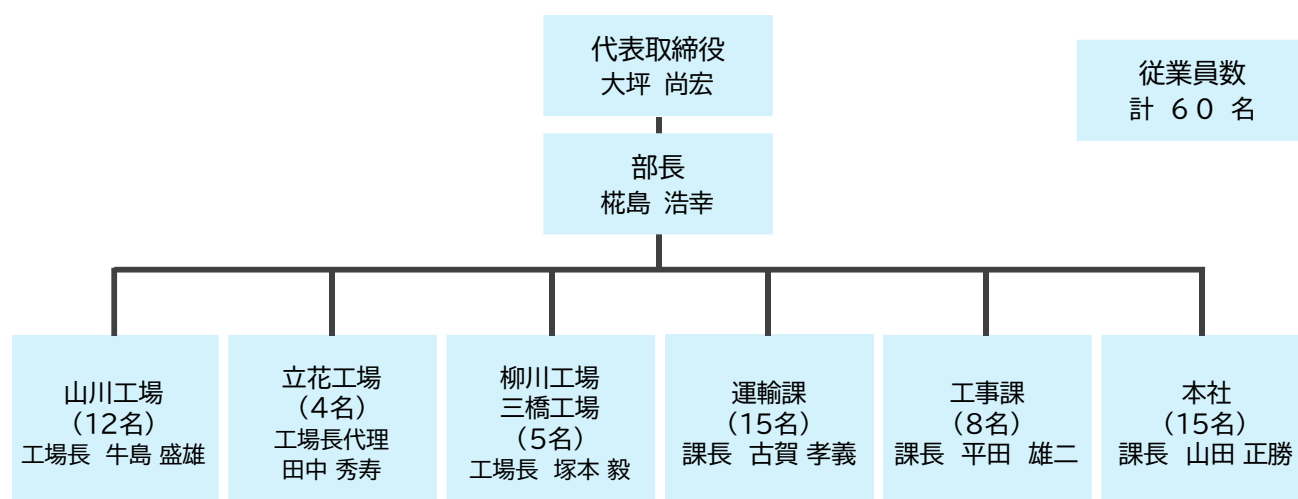
分離・破碎施設

取扱品目	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等(以上3品目については、 廃太陽光パネルに限る。)
設置場所	福岡県みやま市山川町河原内字鍋谷1466番1
設置年月日	令和 5 年 8 月 5 日
処理能力	2.4 t(40mmスクリーン使用)/日(8 時間)

詰替保管施設の有無

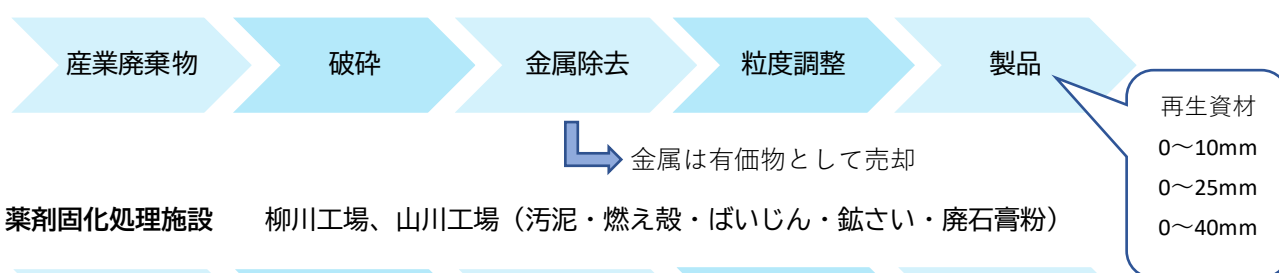
無し

経営組織図

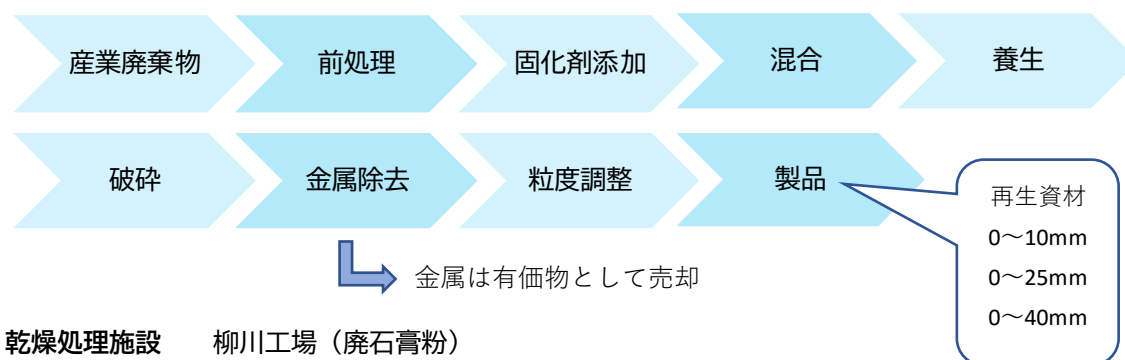


産業廃棄物処理フロー

破碎処理施設 柳川工場、山川工場、立花工場（がれき類・ガラスくず等）



薬剤固化処理施設 柳川工場、山川工場（汚泥・燃え殻・ばいじん・鉍さい・廃石膏粉）



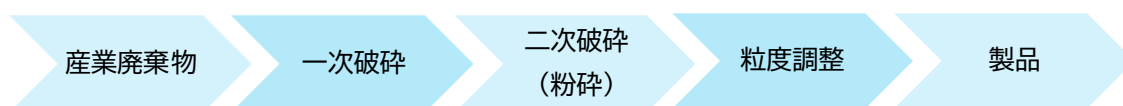
乾燥処理施設 柳川工場（廃石膏粉）



破碎処理施設 山川工場（木くず）



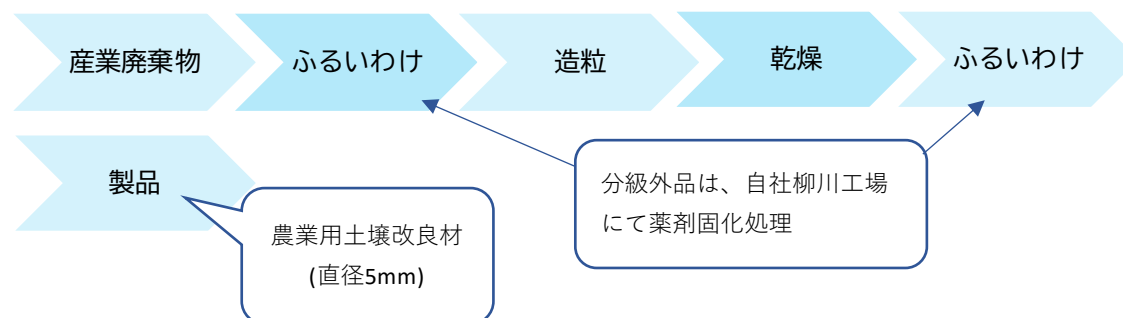
破碎処理施設 山川工場（ガラスくず等）



造粒固化施設 移動式（無機性汚泥）



不溶化・造粒施設 三橋工場（廃石膏粉）



破碎・分離施設 山川工場（ガラスくず等・廃プラスチック類・金属くず※廃太陽光パネル）



2. SDGsへの取組

当社は、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」に賛同し、持続可能な世界の実現に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1「貧困をなくそう」

子ども食堂応援私募債「希望の環」を通じて、未来を担う子どもたちの支援を行います。



2「飢餓をゼロに」

子ども食堂応援私募債「希望の環」を通じて、未来を担う子どもたちの支援を行います。



3「すべての人に健康と福祉を」

子ども食堂応援私募債「希望の環」を通じて、未来を担う子どもたちの支援を行います。



4「質の高い教育をみんなに」

社員一人一人の技術向上、人間向上に努めるとともに、地域の環境教育のモデルカンパニーとなる事を目指します。



5「ジェンダー平等を実現しよう」

「子育て応援宣言企業」に登録し、結婚・出産後も働きやすく、業員が仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組みます。



6「安全な水とトイレを世界中に」

雨水や中水の循環利用による事業場外への排水の削減や水使用量の削減に取り組み、安全な水資源の確保に努めます。



7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」

低騒音、低燃費重機や車両の導入を推進、エコドライブや生産効率向上をはじめとしたエコアクションに取り組みます。



8「働きがいも経済成長も」

物心両面の社員満足を目指し、社員とその家族が誇りに思える会社づくりを追求します。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

地域社会の課題解決に取り組み、環境保全と経済発展を両輪に常に進化する会社を目指します。

10 人や国の不平等を
なくそう



10「人や国の不平等をなくそう」

SDGs私募債「特定非営利活動法人国境なき医師団日本」を通じて、紛争や自然災害、貧困などの様々な理由で保健医療サービスを受けられない人々への支援を行います。

11 住み続けられる
まちづくりを



11「住み続けられるまちづくりを」

リサイクル事業を通じて資源循環社会に貢献すると同時に、万が一の災害発生時にも物量、品質の両面で対応できる製品供給体制を整備します。

12 つくる責任
つかう責任



12「つくる責任 つかう責任」

効率的でエコな生産活動、ゼロエミッションを基軸としたリサイクル事業、安心・安全な商品・サービスの提供を行います。

13 気候変動に
具体的な対策を



13「気候変動に具体的な対策を」

環境事業を推進するとともに、社員のため息が出ない会社を目指し、CO2 削減に努めます。

14 海の豊かさ
を守ろう



14「海の豊かさを守ろう」

カキ殻の農業利用をはじめ、海洋資源のリサイクルに積極的に取り組み、地域の地産地消モデルを構築します。

15 陸の豊かさ
を守ろう



15「陸の豊かさを守ろう」

海洋資源の農業利用、荒廃竹林の整備に寄与し、これらを利活用した地元特産品の確立を目指します。

16 平和と公正を
すべての人に



16「平和と公正をすべての人に」

SDGs私募債「特定非営利活動法人国境なき医師団日本」を通じて、紛争や自然災害、貧困などの様々な理由で保健医療サービスを受けられない人々への支援を行います。

17 パートナリ
シップで
目標を達成しよう



17「パートナーシップで目標を達成しよう」

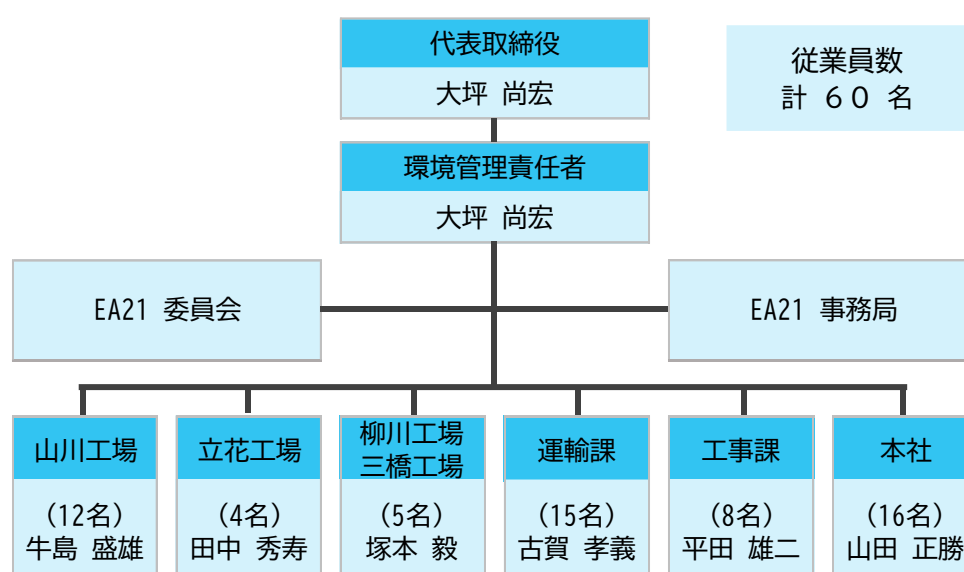
業種の垣根を越えたコラボレーションを通じ、ソリューションビジネスの活性化を図ります。

3. 認証・登録範囲

(1)対象範囲・事業活動・対象期間

- ・対象範囲 全組織(本社、山川工場、立花工場、柳川工場、運輸課、工事課、三橋工場)
- ・事業活動 産業廃棄物処分業、産業廃棄物収集運搬業、砕石業、一般貨物運送事業、土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業
- ・対象期間 2023年6月1日～2024年5月31日

(2)実施体制



(3)役割分担表

氏名	所属	役割・責任・権限
大坪 尚宏	代表取締役	全体統括、環境方針の設定、全体の評価と見直しを行う。 環境文書の承認。 環境管理責任者を任命する。 環境への取組を実施するための資源（人、もの、金）を準備する。
	環境管理責任者	環境管理責任者として、環境経営システムを構築・実行し、環境実績を向上させる。全体の状況を把握し、その結果を代表者に報告する。
	EA21 委員会	月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動の計画の実行状況を審議する。
	EA21 事務局	全工場におけるEA21文書及び記録類の作成・維持・管理を行う。
牛島 盛雄	山川工場	山川工場における環境負荷に関する全ての項目を管理する。
田中 秀寿	立花工場	立花工場における環境負荷に関する全ての項目を管理する。
塚本 毅	柳川工場 三橋工場	柳川工場兼三橋工場における環境負荷に関する全ての項目を管理する。
古賀 孝義	運輸課	運輸課における環境負荷に関する全ての項目を管理する。
平田 雄二	工事課	工事課における環境負荷に関する全ての項目を管理する。
山田 正勝	本社	本社における環境負荷に関する全ての項目を管理する。

4. 環境経営方針

大坪GSI 株式会社は、産業廃棄物リサイクル、土木工事を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、環境への取組を最重要課題として、全社一丸となって、法令遵守のもと環境への取組を推進して環境負荷を継続的に削減する。

1. 事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取組を行う
 - (1)二酸化炭素排出量の削減
 - (2)廃棄物排出量の削減
 - (3)水使用量の削減
 - (4)収集運搬・処分における環境配慮の推進
 - (5)土木工事における環境配慮の推進
 - (6)地域貢献活動の推進
 - (7)グリーン購入の推進
2. 当社の事業活動において関連する環境関連法規等を遵守する。
3. 地域社会における環境保全活動を積極的に実施して、地域の環境保全に貢献する。
4. この環境経営方針は、従業員全員に周知するとともに、研修や教育を通じて環境保全に向けた意識の向上に努める。

制定 平成24年 6月 1日

改訂 令和 4年 6月 1日

大坪GSI 株式会社

代表取締役 大坪 尚宏

5. 環境経営目標

令和 2 年度の実績を基に、当社全体での 3 年後(令和 6 年度)までに 4%の削減を目標とする。

環境目標		単位	部署	R2年度実績	R3年度	1年後(R4年度)	2年後 (R5年度)	3年後 (R6年度)	
				基準	1%削減	2%削減	3%削減	4%削減	
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO ₂	全体	2,279,772	2,256,971 以下	2,235,544 以下 (本社軽油追加)	2,212,735 以下 (本社軽油追加)	2,189,769 以下 (本社軽油追加)
				本社	15,230	15,077 以下	16,295 以下 (軽油削減追加)	16,132 以下 (軽油削減追加)	15,810 以下 (軽油削減追加)
				山川工場	936,499	927,134 以下	917,769 以下	908,404 以下	899,039 以下
				立花工場	336,422	333,057 以下	329,693 以下	326,329 以下	322,965 以下
				柳川工場	259,575	256,979 以下	254,383 以下	251,787 以下	249,192 以下
				運輸課	547,313	541,839 以下	536,366 以下	530,893 以下	525,420 以下
				工事課	177,496	175,721 以下	173,946 以下	172,171 以下	170,396 以下
				三橋工場	7,237	7,164 以下	7,092 以下	7,019 以下	6,947 以下
	(1)	電力	kWh	全体	638,136	631,752 以下	625,370 以下	618,988 以下	612,608 以下
				本社	5,074	5,023 以下	4,972 以下	4,921 以下	4,871 以下
				山川工場	324,616	321,369 以下	318,123 以下	314,877 以下	311,631 以下
				立花工場	168,296	166,613 以下	164,930 以下	163,247 以下	161,564 以下
				柳川工場	111,276	110,163 以下	109,050 以下	107,937 以下	106,824 以下
				運輸課	12,745	12,617 以下	12,490 以下	12,362 以下	12,235 以下
				工事課	5,074	5,023 以下	4,972 以下	4,921 以下	4,871 以下
				三橋工場	11,055	10,944 以下	10,833 以下	10,723 以下	10,612 以下
	(2)	灯油	ℓ	全体	2,103	2,080 以下	2,059 以下	2,036 以下	2,018 以下
				本社	70	69 以下	68 以下	67 以下	67 以下
				山川工場	867	858 以下	849 以下	840 以下	832 以下
				立花工場	448	443 以下	439 以下	434 以下	430 以下
				柳川工場	368	364 以下	360 以下	356 以下	353 以下
				運輸課	350	346 以下	343 以下	339 以下	336 以下
				工事課	0	0 以下	0 以下	0 以下	0 以下
	(3)	重油	ℓ	全体	179,190	177,398 以下	175,606 以下	173,814 以下	172,022 以下
				山川工場	179,190	177,398 以下	175,606 以下	173,814 以下	172,022 以下
	(4)	LPG	kg	全体	695.852	688.893 以下	681.934 以下	674.975 以下	668.017 以下
				山川工場	16.974	16.804 以下	16.634 以下	16.464 以下	16.295 以下
				立花工場	31.878	31.559 以下	31.240 以下	30.921 以下	30.602 以下
				三橋工場	647	640.530 以下	634.060 以下	627.590 以下	621.120 以下
	(5)	ガソリン	ℓ	全体	14,963	14,810 以下	14,661 以下	14,510 以下	14,362 以下
本社				5,442	5,387 以下	5,333 以下	5,278 以下	5,224 以下	
山川工場				935	925 以下	916 以下	906 以下	897 以下	
立花工場				518	512 以下	507 以下	502 以下	497 以下	
柳川工場				367	363 以下	359 以下	355 以下	352 以下	
運輸課				2,847	2,818 以下	2,790 以下	2,761 以下	2,733 以下	
工事課				4,854	4,805 以下	4,756 以下	4,708 以下	4,659 以下	
(6)	軽油	ℓ	全体	560,643	555,035 以下	550,255 以下 (本社追加)	544,641 以下 (本社追加)	539,026 以下 (本社追加)	
			本社	836 (R4年3月～R4年5月のデータを基に算出)		827 以下	819 以下	810 以下	
			山川工場	112,800	111,672 以下	110,544 以下	109,416 以下	108,288 以下	
			立花工場	98,215	97,232 以下	96,250 以下	95,268 以下	94,286 以下	
			柳川工場	79,266	78,473 以下	77,680 以下	76,888 以下	76,095 以下	
			運輸課	206,872	204,803 以下	202,734 以下	200,665 以下	198,597 以下	
			工事課	63,490	62,855 以下	62,220 以下	61,585 以下	60,950 以下	

2	一般廃棄物排出量の削減	ton	全体	1.0128	1.0023 以下	0.9923 以下	0.9821 以下	0.9720 以下
			本社	0.1219	0.1206 以下	0.1194 以下	0.1182 以下	0.1170 以下
			山川工場	0.052	0.0514 以下	0.0509 以下	0.0504 以下	0.0499 以下
			立花工場	0.0391	0.0387 以下	0.0383 以下	0.0379 以下	0.0375 以下
			柳川工場	0.1183	0.1171 以下	0.1159 以下	0.1147 以下	0.1135 以下
			運輸課	0.113	0.1118 以下	0.1107 以下	0.1096 以下	0.1084 以下
			工事課	0.0843	0.0834 以下	0.0826 以下	0.0817 以下	0.0809 以下
			三橋工場	0.4842	0.4793 以下	0.4745 以下	0.4696 以下	0.4648 以下
	産業廃棄物排出量の削減	%	全体	68.61		69.29	69.98	70.66
			工事課	68.61		69.29	69.98	70.66
3	水使用量の削減	m³	全体	395.00	391.03 以下	387.09 以下	383.14 以下	379.20 以下
			本社	64.25	63.60 以下	62.96 以下	62.32 以下	61.68 以下
			柳川工場	118	116.82 以下	115.64 以下	114.46 以下	113.28 以下
			運輸課	138.5	137.11 以下	135.73 以下	134.34 以下	132.96 以下
			工事課	64.25	63.60 以下	62.96 以下	62.32 以下	61.68 以下
			三橋工場	10	9.90 以下	9.80 以下	9.70 以下	9.60 以下
	地下水使用量の削減	kℓ	全体	3,802.74	3,764.71 以下	3,726.68 以下	3,688.65 以下	3,650.63 以下
			山川工場	246.00	243.54 以下	241.08 以下	238.62 以下	236.16 以下
			立花工場	385.74	381.88 以下	378.02 以下	374.16 以下	370.31 以下
			柳川工場	3171	3,139.29 以下	3,107.58 以下	3,075.87 以下	3,044.16 以下
4	地域貢献活動の推進	回	全体	1644	1651	1658	1665	1672
			本社	324	325	326	327	328
			山川工場	216	217	218	219	220
			立花工場	108	109	110	111	112
			柳川工場	324	325	326	327	328
			運輸課	288	289	290	291	292
			工事課	276	277	278	279	280
			三橋工場	108	109	110	111	112
5	グリーン購入の推進	エコ商品の積極的な取り入れ						
6	環境配慮の推進	全体	各部門で実施					
		本社	収集運搬車両の購入の際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材の使用を考慮					
		山川工場	中間処理設備での粉じん発生の抑制					
		立花工場	中間処理設備での粉じん発生の抑制					
		柳川工場	中間処理設備での粉じん発生の抑制					
		運輸課	デジタルタコグラフによる運行管理					
		工事課	工事に伴う騒音、振動、粉じん、濁水の発生の抑制					
		三橋工場	中間処理設備での粉じん発生の抑制					

6. 環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	電気使用量の削減	1 使用していない場所の電気を消す	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		2 退社時に不要なコンセントを引抜く	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		3 事務所内のエアコンの適温化	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
2	灯油使用量の削減	1 暖房の適温化	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
3	重油使用量の削減	1 プラント稼働の効率化		牛島					
4	LPG使用料の削減	1 温水はなるべく使用しない		牛島	田中				
		2 小まめにガス栓を閉める		牛島	田中				塚本
5	ガソリン使用量の削減	1 加減速を少なくする	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		2 早めのブレーキ	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		3 定期点検の実施	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
6	軽油使用量の削減	1 アイドリングストップを実行する		牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		2 急発進、急停止をなくす		牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		3 重機の低回転での作業を行う		牛島	田中	塚本		平田	
		4 重機の騒音、振動の低減を行う		牛島	田中	塚本		平田	
		5 軽油使用量の管理		牛島	田中	塚本	古賀	平田	

2.廃棄物排出量の削減

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	廃棄物の削減	1 事務所からの可燃ゴミを減らす	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		2 裏紙の利用	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
2	産業廃棄物の再資源化	1 分別廃棄の徹底						平田	

3.水使用量の削減

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	節水活動	1 雨水等の利用		牛島	田中	塚本			
		2 節水を促すラベルを貼る	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		3 水の出しっぱなしをなくしていく	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

4.地域貢献活動の推進

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	地域の環境保全に貢献する	1 地域の環境清掃を行う	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

5.グリーン購入の推進

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	グリーン購入の推進	1 購入の際、積極的にエコ商品を取り入れる	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

6.環境配慮の推進

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	環境配慮の推進	1 各部門で実施する	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

エコアクション 21 を運用した令和 5 年 6 月～令和 6 年 6 月における目標に対する実績は次のとおりである。

※削減目標達成率＝(目標数値/実績数値)×100

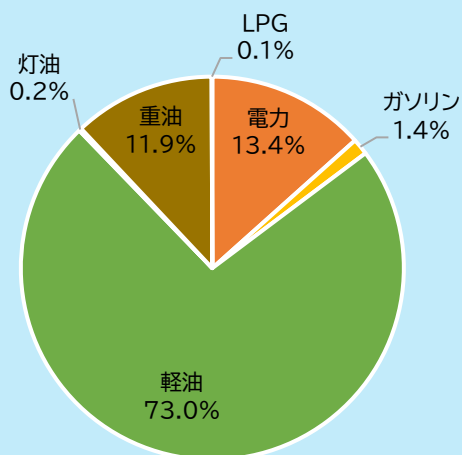
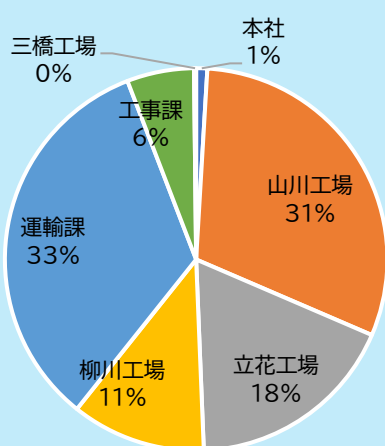
※増加目標達成率＝(実績数値/目標数値)×100

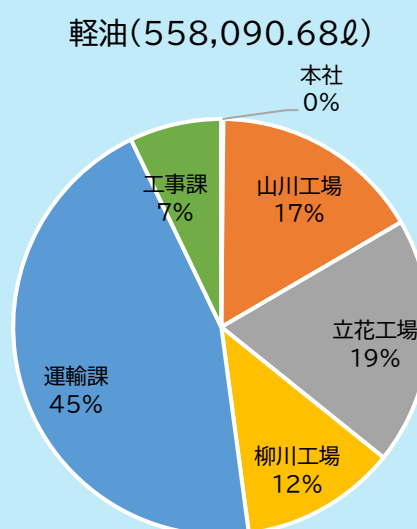
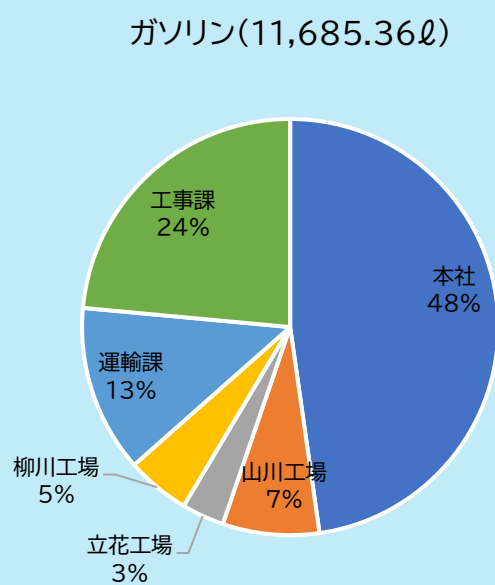
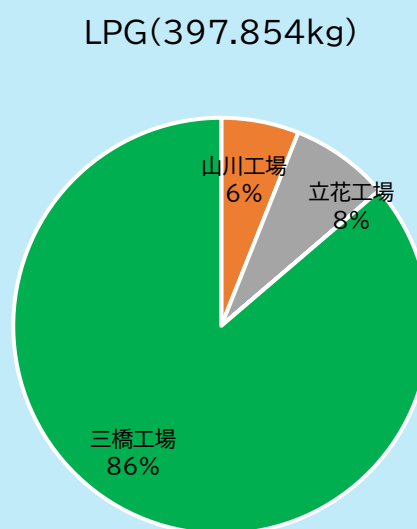
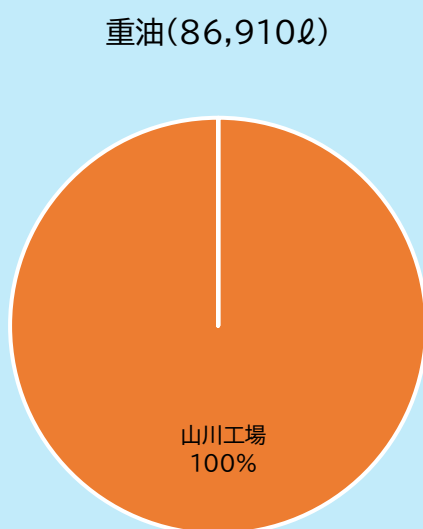
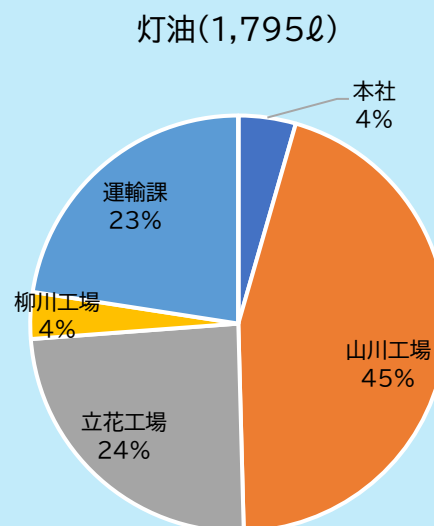
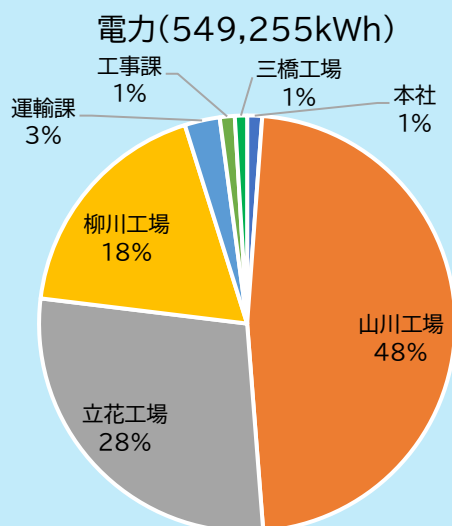
※購入電力の排出係数は、九州電力の排出係数 0.479(kg-CO₂/kWh)と、
新出光の排出係数 0.497(kg-CO₂/kWh)を用いた。

全体実績

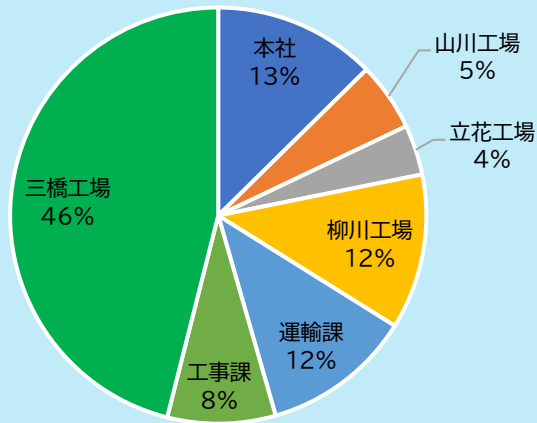
環境経営目標項目		令和5年度目標	R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	2,212,735 以下	1,971,373	112	○
	(1) 電力 (kWh)	618,988 以下	549,255	113	○
	(2) 灯油 (ℓ)	2,036 以下	1,795	113	○
	(3) 重油 (ℓ)	173,814 以下	86,910	200	○
	(4) LPG (kg)	674.975 以下	382.950	176	○
	(5) ガソリン (ℓ)	14,510 以下	11,685.39	124	○
	(6) 軽油 (ℓ)	544,641 以下	557,873.68	98	△
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.9821 以下	0.9144	107	○
	産業廃棄物再資源化の推進 (%)	69.98	55.5	79	×
3	上水使用量の削減 (m ³)	383.14 以下	354	108	○
	地下水使用量の削減 (kℓ)	3,688.65 以下	4,065.12	90.7	△
4	地域貢献活動の推進 (回)	1,665	1,764		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ			○
6	環境配慮の推進	各部門で実施する。			○

二酸化炭素排出量(1,971,373kg-CO₂)

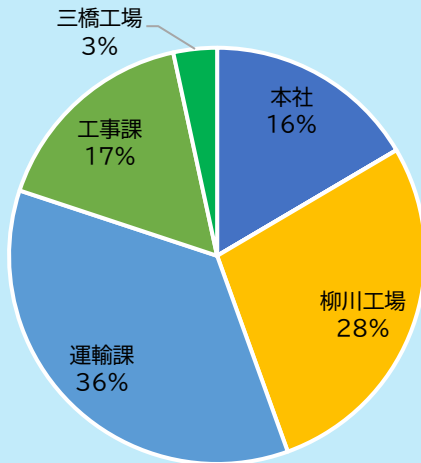




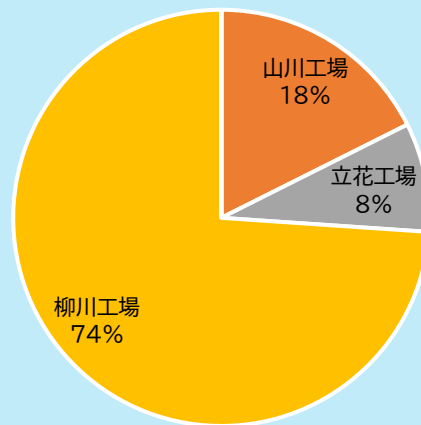
廃棄物排出量(0.9144ton)



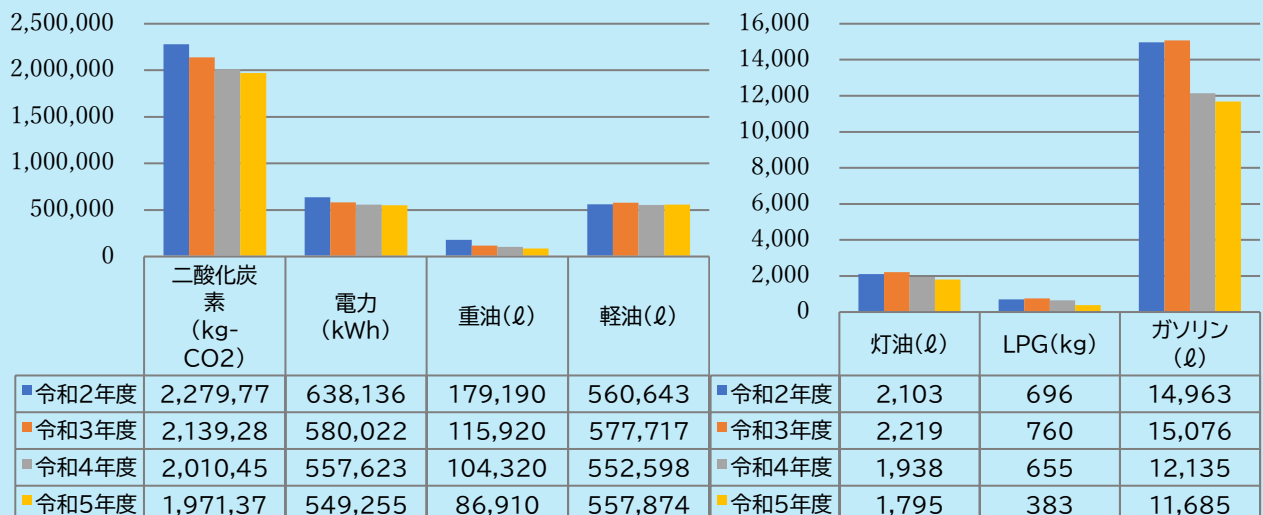
水使用量(354m³)



地下水使用量(4,065.12kℓ)



二酸化炭素排出量削減における取組実績の推移



1. 二酸化炭素排出量の削減

昨年度に引き続き、軽油の削減目標を達成できず、昨年度より使用量が増加してしまった。生産量の増加により製造部門での建設機械の稼働、運輸部門での車両の稼働が増加していると思われる。社員一人一人が意識して取り組んでいるが、さらに生産性の向上を意識していくよう周知していく。他の項目についても継続して削減に取り組んでいく。

2. 廃棄物排出量の削減

各事業所より排出される一般廃棄物排出量削減は、昨年度に引き続き各自が意識して分別、削減に取り組むことができ達成できた。引き続き削減に努めていく。産業廃棄物の再資源化目標は達成することができなかった。建設現場で発生する廃棄物はできるだけ分別を行い、また再資源化可能な処分先の検討を行っていく。

3. 水使用量の削減

上水道の使用量削減は達成できたが、地下水の使用量削減は達成できなかった。事務所における適切な水量での利用ができていたと思われる。また、地下水については、生産量が増加しプラントの稼働率が増加したと思われる。その日の状況によって散水の水量を調節するなど、適切な使用を心掛けていく。

4. 地域貢献活動の推進

各事業所にて、継続して事務所周辺の道路清掃を行い今後も引き続き継続していき、清掃活動だけでなく様々な形で地域貢献活動を行っていく。

5. グリーン購入の推進

各事業所にて、意識してエコ商品を取り入れ購入することができている。引き続き各自が意識して継続していく。

6. 環境配慮活動

各事業所にて取組が行えており、各事業所での園芸活動や工場・建設現場での建設機械のエコモード運転、一般道におけるエコドライブなどを行っている。また、低排出ガスの車両・重機の導入や工場での粉塵発生の抑制など、地域・環境への配慮を意識して取り組んでいく。

本社実績

環境経営目標項目		令和5年度目標	R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	16,132 以下	18,500	87	△
	(1) 電力 (kWh)	4,921 以下	6,372	77	×
	(2) 灯油 (ℓ)	67 以下	80	84	△
	(3) ガソリン (ℓ)	5,278 以下	5,579.25	95	△
	(4) 軽油 (ℓ)	819 以下	893.4	92	△
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.1182 以下	0.115	102	○
3	上水使用量の削減 (m ³)	62.32 以下	58.5	107	○
4	地域貢献活動の推進 (回)	327	334		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ			○
6	環境配慮の推進	収集運搬車両の購入の際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材の使用を考慮			○

1. 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量、各取組目標ともに達成できなかった。
電力の達成率が低く、こまめな節電や、エアコンの適切な
温度設定を心掛けていく。

2. 廃棄物排出量の削減

詰替え可能な商品を購入するなど、引き続き削減に努めていく。

3. 水使用量の削減

適切な水量での使用を継続していく。

4. 地域貢献活動の推進

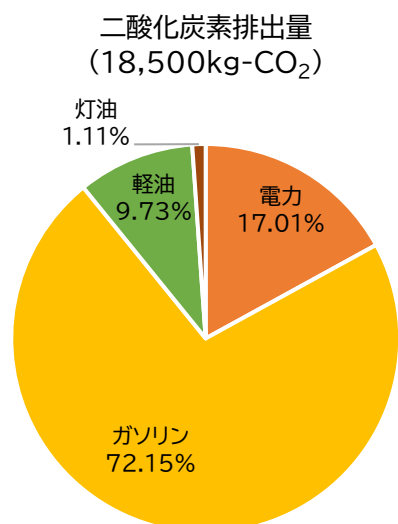
引き続き事務所周辺の清掃等を継続してく。

5. グリーン購入の推進

再生可能な製品やエコ商品の購入を続けていく。

6. 環境配慮活動

エコドライブを心掛け、環境に配慮してく。



山川工場実績

環境経営目標項目		令和5年度目標		R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	908,404	以下	601,816	151	○
	(1) 電力 (kWh)	314,877	以下	261,478	120	○
	(2) 灯油 (ℓ)	840	以下	810	104	○
	(3) 重油 (ℓ)	173,814	以下	86,910	200	○
	(4) LPG (kg)	16.464	以下	24.012	69	×
	(5) ガソリン (ℓ)	906	以下	877.1	103	○
	(6) 軽油 (ℓ)	109,416	以下	91,695.23	119	○
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.0504	以下	0.0486	104	○
3	地下水使用量の削減 (kℓ)	238.62	以下	715.7	33	×
4	地域貢献活動の推進 (回)	219		232		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ				○
6	環境配慮の推進	中間処理設備での粉じん発生抑制				○

1. 二酸化炭素排出量の削減

LPG 以外は達成できた。お湯を沸かす際に沸騰したらガスを
すぐ止める等、工夫をして使用量を削減するよう心掛けていきたい。

2. 廃棄物排出量の削減

裏紙の再利用やゴミの分別等を継続して行った。

3. 地下水使用量の削減

プラント稼働率が高く、雨も少なく、雨水を使用しているが
地下水使用量削減目標が達成できなかった。雨水を使用し、
節水を継続していく。

4. 地域貢献活動の推進

朝の入口の清掃や道路清掃などを徹底し、地域貢献活動を継続して行った。

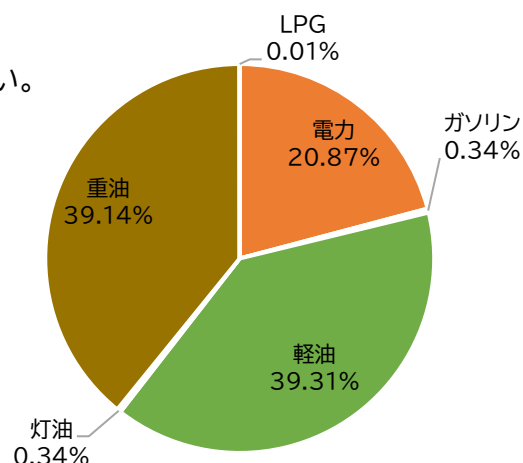
5. グリーン購入の推進

グリーンマーク商品や詰替え用品を意識して購入した。

6. 環境配慮活動

雨の日以外は、毎日場内散水を行い、粉塵発生の抑制に努めた。

二酸化炭素排出量
(601,816kg-CO₂)



立花工場実績

環境経営目標項目		令和5年度目標		R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	326,329	以下	352,711	93	△
	(1) 電力 (kWh)	163,247	以下	154,726	106	○
	(2) 灯油 (ℓ)	434	以下	435	99.8	△
	(3) LPG (kg)	30.921	以下	30.636	101	○
	(4) ガソリン (ℓ)	502	以下	385	130	○
	(5) 軽油 (ℓ)	95,268	以下	107,112	89	△
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.0379	以下	0.0356	106	○
3	地下水使用量の削減 (ℓ)	374.16	以下	344.42	109	○
4	地域貢献活動の推進 (回)	111		130		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ				○
6	環境配慮の推進	中間処理設備での粉じん発生抑制				○

1. 二酸化炭素排出量の削減

電力、軽油の使用が多かった為達成できなかった。節電などを心掛け、目標を達成できるように努力していく。

2. 廃棄物排出量の削減

事務所からの可燃ゴミの削減を重点的に実行し目標を達成できた。今後もリサイクル意識を高め、更なる対策に努めていく。

3. 地下水使用量の削減

プラントの稼働時間が少なかった為、目標を達成できた。これからも節水を心掛けていきたい。

4. 地域貢献活動の推進

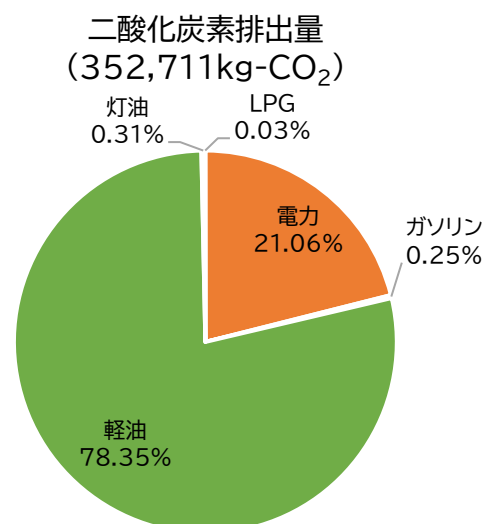
道路清掃やゴミ拾いをし、地域貢献活動を継続して行った。

5. グリーン購入の推進

今後もエコ商品を積極的に取り入れていく。

6. 環境配慮活動の推進

晴れた日は埃が飛散する前に、場内散水をするよう心掛けた。



柳川工場実績

環境経営目標項目		令和5年度目標		R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	251,787	以下	223,876	112	○
	(1) 電力 (kWh)	107,937	以下	100,115	108	○
	(2) 灯油 (ℓ)	356	以下	65	548	○
	(3) ガソリン (ℓ)	355	以下	577.01	62	×
	(4) 軽油 (ℓ)	76,888	以下	67,550	114	○
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.1147	以下	0.1102	104	○
3	上水使用量の削減 (m ³)	114.46	以下	99	116	○
	地下水使用量の削減 (kℓ)	3,075.87	以下	3,005	102	○
4	地域貢献活動の推進 (回)	327		334		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ				○
6	環境配慮の推進	中間処理設備での粉じん発生抑制				○

1. 二酸化炭素排出量の削減

建設機械等のエコ運転を徹底して、二酸化炭素排出量の削減に努めていく。

2. 廃棄物排出量の削減

引き続き徹底していく。

3. 水使用量の削減

引き続き節水を心掛けていく。

4. 地域貢献活動の推進

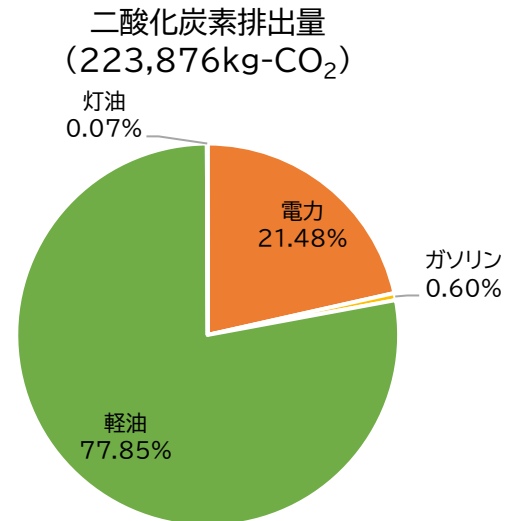
今まで以上に取り組みを行う。

5. グリーン購入の推進

引き続きエコ商品の購入を続けていく。

6. 環境配慮活動

引き続き徹底して取り組んでいく。



運輸課実績

環境経営目標項目		令和5年度目標	R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	530,893 以下	659,196	81	△
	(1) 電力 (kWh)	12,362 以下	14,975	83	△
	(2) 灯油 (ℓ)	339 以下	405	84	△
	(3) ガソリン (ℓ)	2,761 以下	1,517.5	182	○
	(4) 軽油 (ℓ)	200,665 以下	250,966.46	79.96	×
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.1096 以下	0.1067	103	○
3	上水使用量の削減 (m ³)	134.34 以下	126	107	○
4	地域貢献活動の推進 (回)	291	307		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ			○
6	環境配慮の推進	デジタルタコグラフによる運行管理を行った。			○

1. 二酸化炭素排出量の削減

異常気象で冷暖房の使用は多くなるが、服装で調節したり玄関に暗幕を貼るなど工夫しながら、適温化を心掛けていく。
軽油は集計した実績を周知し、エコドライブを徹底していく。

2. 廃棄物排出量の削減

今後も継続してゴミの分別、リサイクルを徹底していく。

3. 水使用量の削減

今後も継続して節水を心掛けていく。

4. 地域貢献活動の推進

会社周辺の清潔さを維持して地域貢献に力を入れていきたい。

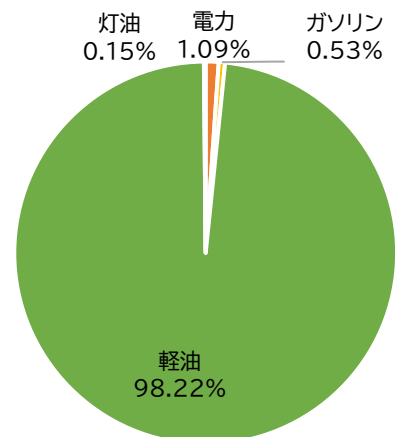
5. グリーン購入の推進

今後もグリーン商品を多く取り入れていきたい。

6. 環境配慮活動

エコドライブを心掛けていく。

二酸化炭素排出量
(659,196kg-CO₂)



工事課実績

環境経営目標項目		令和5年度目標		R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)	172,171	以下	111,710	154	○
	(1) 電力 (kWh)	4,921	以下	6,372	77	×
	(2) 灯油 (ℓ)	0	以下	0	—	○
	(3) ガソリン (ℓ)	4,708	以下	2,749.5	171	○
	(4) 軽油 (ℓ)	61,585	以下	39,873.58	154	○
2	廃棄物排出量の削減 (ton)	0.0817	以下	0.0768	106	○
	産業廃棄物再資源化の推進 (%)	69.98		55.5	79	×
3	上水使用量の削減 (m ³)	62.32	以下	58.5	107	○
4	地域貢献活動の推進 (回)	279		297		○
5	グリーン購入の推進 (品目)	エコ商品の積極的な取り入れ				○
6	環境配慮の推進	工事に伴う騒音、振動、粉じん、濁水の発生の抑制				○

1. 二酸化炭素排出量の削減

電力の削減目標が達成できなかった。適切な温度設定やこまめな節電を心掛けていく。その他の目標についても、エコドライブや建設機械のエコ運転を心掛けて削減に努めていきたい。

2. 廃棄物排出量の削減

現場にて発生する廃棄物はできるだけ分別を行い、より再資源化できるよう努めていく。

3. 水使用量の削減

節水を心掛け、引き続き削減に努めていく。

4. 地域貢献活動の推進

今後も現場や事務所周辺の清掃を行っていく。

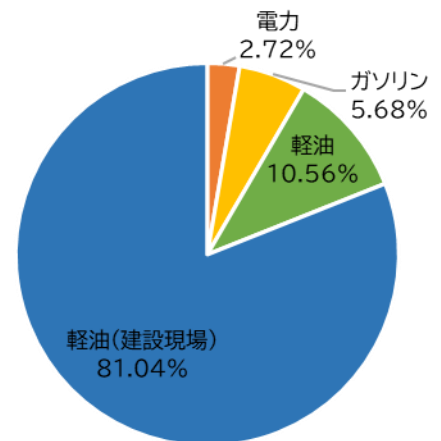
5. グリーン購入の推進

エコ商品の購入を引き続き行っていく。

6. 環境配慮活動

散水等を行い、現場周辺の環境に配慮していく。

二酸化炭素排出量
(117,710kg-CO₂)



三橋工場実績

環境経営目標項目			令和5年度目標	R5年6月～R6年5月 までの実績	達成率 (%)	目標達成 の判定
1	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂)		7,019 以下	3,528	199	○
	(1)	電力 (kWh)	10,723 以下	5,217	206	○
	(2)	LPG (kg)	627.59 以下	343.206	183	○
2	廃棄物排出量の削減 (ton)		0.4696 以下	0.4211	112	○
3	上水使用量の削減 (m ³)		9.7 以下	12	81	△
4	地域貢献活動の推進 (回)		111	130		○
5	グリーン購入の推進 (品目)		エコ商品の積極的な取り入れ			○
6	環境配慮の推進		中間処理設備での粉じん発生の抑制			○

1. 二酸化炭素排出量の削減

目標を達成できるよう努めることができた。

2. 廃棄物排出量の削減

再利用を心掛け、廃棄物削減に努めた。

3. 水使用量の削減

使用量の確認を徹底し、節水を心掛けた。

4. 地域貢献活動の推進

工場周辺の清掃を行い、地域貢献に努めた。

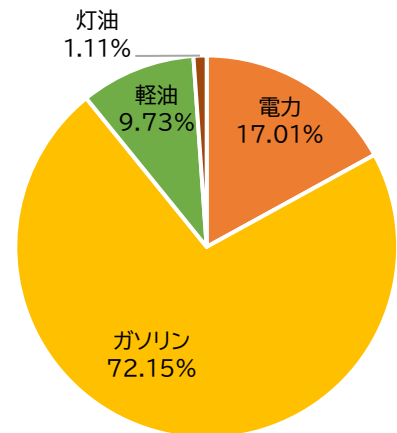
5. グリーン購入の推進

詰替え用の商品を購入するよう心掛けた。

6. 環境配慮活動

粉塵発生を抑制する為、工場内や廃棄物置場への散水を徹底した。

二酸化炭素排出量
(18,500kg-CO₂)



8. 令和6年度の環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	電気使用量の削減	1 使用していない場所の電気を消す	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		2 退社時に不要なコンセントを引抜く	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		3 事務所内のエアコンの適温化	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
2	灯油使用量の削減	1 暖房の適温化	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
3	重油使用量の削減	1 プラント稼働の効率化		牛島					
4	LPG使用料の削減	1 温水はなるべく使用しない		牛島	田中				
		2 小まめにガス栓を閉める		牛島	田中				塚本
5	ガソリン使用量の削減	1 加減速を少なくする	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		2 早めのブレーキ	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		3 定期点検の実施	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	
6	軽油使用量の削減	1 アイドリングストップを実行する		牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		2 急発進、急停止をなくす		牛島	田中	塚本	古賀	平田	
		3 重機の低回転での作業を行う		牛島	田中	塚本		平田	
		4 重機の騒音、振動の低減を行う		牛島	田中	塚本		平田	
		5 軽油使用量の管理		牛島	田中	塚本	古賀	平田	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	廃棄物の削減	1 事務所からの可燃ゴミを減らす	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		2 裏紙の利用	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
2	産業廃棄物の再資源化	1 分別廃棄の徹底						平田	

3. 水使用量の削減

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	節水活動	1 雨水等の利用		牛島	田中	塚本			
		2 節水を促すラベルを貼る	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本
		3 水の出っぱなしをなくしていく	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

4. 地域貢献活動の推進

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	地域の環境保全に貢献する	1 地域の環境清掃を行う	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

5. グリーン購入の推進

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	グリーン購入の推進	1 購入の際、積極的にエコ商品を取り入れる	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

6. 環境配慮の推進

取組目標		環境経営目標	本社	山川	立花	柳川	運輸	工事	三橋
1	環境配慮の推進	1 各部門で実施する	山田	牛島	田中	塚本	古賀	平田	塚本

9. 環境関連法規等の遵守状況と違反、訴訟等の有無

当事業に適用される主な環境関連法規は以下の通りです。

廃棄物処理法	消防法	振動規制法
建設リサイクル法	水質汚濁防止法	浄化槽法
大気汚染防止法	騒音規制法	オフロード法
フロン排出抑制法	労働安全衛生法	肥料の品質の確保等に関する法律

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反は過去3年間ありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年も一年、全員で環境目標に対する取り組みを進めていくことができました。

今年は新たな取り組みとして廃棄物をより付加価値の高いものに変えて世の中に広げていく UCG(アップサイクルゲート)事業に取り組み開始。

リデュース、リユースを最優先に対応しても必ずリサイクルしなければならない廃棄物は発生します。
その廃棄物をより高付加価値なものにリサイクルする仕組みを自社のみならず広く発信していきたい
と考え、福岡市大名に新たな拠点を設置しました。

これを機に廃棄物が不要物ではなく安定資源として再認識される活動をしていきたいと考えています。

環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制については昨年同様で活動していきます。



発行日

2024年8月1日

環境管理責任者

大坪 尚宏

担当者

岩切 哲至

連絡先

TEL 0944-74-6811

FAX 0944-74-6812

mail mail@ogsic.jp

HP <https://www.ogsic.jp/>

デザインしよう、資源の今と未来。

OTSUBO GSI.